

「考え、議論する道徳」の実現に向けた授業構想〈小・道徳〉

特別研修員 道徳 古塩 篤志（小学校教諭）

主題名 かけがえのない命
内容項目 D-(18) 生命の尊さ
教材名 『大切なものは何ですか』

主題名 苦しくても
内容項目 A-(5) 希望と勇気、努力と強い意志
教材名 『字を書きたい～星野富弘～』

授業改善の視点

ペアでお互いの意見を発表し合い、相手の考えを全体場で発表する活動を通して、多面的・多角的な考えに触れることで、深い学びにつながるようにする。

授業改善の視点

登場人物や自分の気持ちを心情メーターに表して可視化することを通して、児童それぞれが気持ちの変化に気づき、自分事として深い学びにつながるようにする。

過程

主な学習活動（○発問 ◎中心発問）

導入

1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。

○「あなたの一番大切なもの」と言われて、どのようなものを思い浮かべますか。

道徳的諸価値についての理解を深めるために

・「あなたの大切なものは何ですか」という問いに対して、児童の意見と物語に出てくる虫たちの考えを照らし合わせながら、命の大切さについて気付かせる。

命を大切にすることについて、考えを深めよう。

1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。

○苦しいことや辛いことをするときの、あなたの気持ちを心情メーターの上段に表しましょう。

道徳的諸価値についての理解を深めるために

・児童が体験した苦しいことや辛いことについてのアンケートを基に、そのときの自分の気持ちを心情メーターに示してから、富弘さんの心情を考えさせる。

苦しいことや辛いことを乗り越えるためには、どんな心が大切なのでしょう。

展開

2. 中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行う。

○「大切なものは何ですか」と質問したセミはみんなの話聞き、どのようなことを考えていたと思いますか。

◎どうして私たちは命を大切にするのでしょうか。



<板書例>

物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために

・モンシロチョウの母の気持ちや命を大切にすることについて考える場面では、児童に理由を問い返して、より深く命について考えられるようにする。
 ・児童が自分の言葉で発表できるように、考える時間を確保し、命を大切にすることについて、じっくりと考えさせる。

2. 中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行う。

○歯を食いしぼり、歯ぐきから血を出しながら字を書こうとしているときの富弘さんの気持ちを考えましょう。



<ペア学習の様子>



<主人公の気持ちを色で表す>

◎どのような心があれば、苦しいことや辛いことを乗り越えられるでしょう。

物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために

・場面ごとの富弘さんの気持ちを色で表して可視化することで、気持ちの変化を捉えやすくする。
 ・ペアや全体での交流活動によって、より深く考えることができるようにする。

終末

3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

○今日の授業でどのようなことを学びましたか。

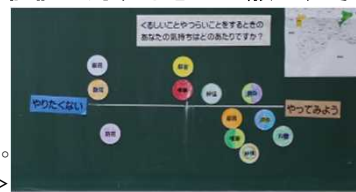
自己の生き方についての考えを深めるために

・終末では、自分の命も友達や家族の命も大切にしながら生きていくことについて、具体的に考えさせ、道徳ノートに書かせる。

3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

○あなたの今の気持ちを心情メーターの下段に表し、上下を見比べて理由を発表しましょう。

<心情メーターの変化の様子>



自己の生き方についての考えを深めるために

・終末では、本時における児童の気持ちの変化を、導入時の心情メーターと比較させることで、自己を振り返り、粘り強くやり抜こうとする心情を育てていく。

道徳科学習指導案

平成30年6月 第3学年 指導者 古塩 篤志

1 主題名 かけがえのない命 内容項目D－(18) 生命の尊さ

2 教材名 「大切なものは何ですか」(出典：光村図書)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

生命を大切に尊重することは、かけがえのない命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心の表れと言える。そうした生命のもつ侵し難い尊さが認識されることにより、与えられた生命を一生懸命生きることの素晴らしさについて考えること、自分と同様に生命あるもの全てを尊いものとして大切にしようとする心情や態度を育てることが求められる。

(2) 児童の実態について

児童たちが暮らしている地域は自然に囲まれ、本学級の児童は、普段から昆虫やトカゲなどの動物や花壇や農園の植物を大切に生活している。しかし、生命の連続性や有限性についての理解は乏しく、今ある命が父母から与えられて、これからもつながれていくことや、人間を含めたどんな生き物もいつかは死んでしまうことを実体験として理解している児童は少ない。

(3) 教材について

夏になり、土から出てきたセミが、ほかの虫たちに「一番大切なものは何ですか」と質問をし、それに対して「お金」「食べ物」「体が丈夫なこと」「自分の家」「勉強」と答える虫たちがいる。アゲハチョウは、友達だったモンシロチョウの死の話をし、「生命」が一番大切であることを示す。一週間しか生きることができないセミを例にとり、一生懸命生きることの大切さと、命の有限性について考え、命に対する理解を深めさせたい。

4 指導方針

○本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつために

- ・「あなたの大切なものはなんですか」というシンプルな問いに対して、児童の意見と物語に出てくる虫たちの考えを照らし合わせながら、命の大切さについて気付かせていく。

○中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行うために

- ・モンシロチョウの母の気持ちや命を大切にすることについて考える場面では、児童に理由などを問い返ししながら、より深く命について考えられるようにしていく。
- ・児童が自分の言葉で発表できるように、考える時間を確保し、命を大切にすることについて、じっくり考えさせる。

○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

- ・終末の振り返りでは、自分の命も友達や家族の命も大切にしながら生きていくことについて、具体的に考えさせ、道徳ノートに書かせる。
- ・児童に問い返しをしながら、命に対する考え方が深まるようにしていく。

5 本時の展開

(1) ねらい

虫たちの話やモンシロチョウの母の気持ちを考えることを通して、命の尊さに気付かせ、自分の命も友達や家族の命も大切にしようとする心情を育てる。

(2) 準備

教師：虫たちの挿絵・セリフ（掲示用）、めあて・発問（掲示用）、道徳ノート、教科書

(3) 展開

学習活動と発問	時間	予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。</p> <p>○みなさんは「あなたの一番大切なもの」と言われて、どのようなものを思い浮かべますか？</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、食べ物、友達、お金、家、ゲーム、おもちゃ、宝物、命・・・。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活の中で、児童は「一番大切なもの」について考えることはあまりない。そこで、改めて発問することにより、問題意識をもたせ、本時の学習へとつなげていく。 ●「 」は空欄にして、児童に関心をもたせる。
<p>「命」を大切にすることについて、考えを深めましょう。</p>			
<p>2 中心的な教材で、本時で扱う道徳的価値を追求する。</p> <p>○物語の最後に、「セミはずっと考えこんでいます」とありますが、セミはみんなの話を聞いて、どのようなことを考えていましたか。</p> <p>○モンシロチョウのお母さんはどんな気持ちで池の上を飛んでいたのでしょうか。</p> <p>○「 」にはどのような言葉が入りますか？</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・モンシロチョウのお母さん、かわいそう。 ・命が一番大事だな。 ・お金や食べ物も必要だな。 ・家がないと生きていけないな。 ・どれが一番なのか選べないな。 ・生きていてくれたらいいな。 ・子供が死んでしまって悲しい気持ち。 ・助けられなくて悔しい気持ち。 ・命だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●昆虫たちの話を聞いて、ずっと考えこんでいるセミの心の中を想像させることにより、児童自身がセミの立場になって考えることができるようにする。 ●子どもを失ったお母さんの気持ちを想像させることにより、周りの人たちが悲しむことや命が大切なことを再確認できるようにする。 ●ほかの意見が出てくることも考えられるが、一番大切なものを意識させ、命をあてはめる。
<p>◎どうして私たちは、命を大切にするのでしょうか。</p> <p>【問い返し(◇)】</p> <p>◇どうして一つしかない大切にすることですか。</p> <p>○あなたは、自分の命や友達の命を大切にしていきたいために、どのようなことに気を付けていきたいですか。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・一つしかないものだから。 ・死んでしまうと、家族や友達が悲しむから。 ・親から与えられたものだから。 ・事故や災害にあわないように生きる。 ・危ないことをしないようにする。 ・友達の嫌がることをしない。 ・家族に迷惑や心配をかけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●隣同士のペアや全体で交流活動を行い、友達の意見と共通しているところや新たに発見したことを認め合い、命に対して多面的に捉えさせる。 ●一人一人が考えを書き、個人の意見について学級全体で共有する場面を設定し、多角的に捉えさせる。
<p>3 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○今日のめあては『「命」を大切にすることについて、考えを深めよう』です。今日の授業でどのようなことを学びましたか。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・家族を悲しませないように、事故に気を付けて生活していきたいです。 ・命は一つしかないのだから、大切にしていきたいです。 ・命を大切に、友達や身近な人に優しくしていきたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●命を大切にすることについて、これまでの自分の考えを認識させ、本時の学習を振り返ることによって、今後の生活にどのように生かしていくのかを考えさせる。 ●児童に発表させ、学級全体の命に対する意識を深めさせる。

(4) 評価の視点

- ペアや全体でお互いの意見を発表して話し合うことで、命を大切にすることについて、多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- ペアや全体でお互いの意見を発表して話し合うことで、命を大切にすることについて、自分自身との関わりの中で深めているか。

指導例：主題名 かけがえのない命 内容項目 D- (18) 生命の尊さ

教材名『大切なものは何ですか』（光村図書）第3学年

ねらい：虫たちの話やモンシロチョウの母の気持ちを考えることを通して、命の尊さに気付かせ、自分の命も友達や家族の命も大切にしようとする心情を育てる。

過程

主な学習活動 (○発問 ◎中心発問 ◇問い返し)

指導のポイント

導入

1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。

○みなさんは「あなたの一番大切なもの」と言われて、どのようなものを思い浮かべますか。

S：家族、食べ物、友達、お金、おもちゃ・・・

「命」を大切にすることについて、考えを深めよう。

問題意識

○日常生活の中で、児童は「一番大切なもの」について考えることはあまりない。そこで、改めて発問することにより、問題意識をもたせ、本時の学習へつなげていく。

○本時のめあての「 」を空欄にしておき、児童に関心をもたせる。

2. 中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行う。

○「大切なものは何ですか」と質問したセミはみんなの話を聞いて、どのようなことを考えていたと思いますか。 <板書例>

S：モンシロチョウのお母さんは可哀想だなあ。

◇お母さんはどうして可哀想なのでしょう。

S：自分の子供をクモに殺されてしまったからです。

S：アゲハチョウは友達がいなくなってしまって可哀想だなあ。

T：お母さんだけではなくて、友達のアゲハチョウも悲しんでいますね。

T：「 」には、どんな言葉が入りますか。

T：今日は命を大切にすることについて、考えを深めていきましょう。



中心発問

○「どうして命を大切にすることか」は本時のねらいに深く関わる発問である。この発問を生かすために、話に出てくるモンシロチョウの死の話の児童に思い出させるようにする。

○中心発問に対して、児童が自分の考えをもてるように、個人で考え、ペアで伝え合う活動を行う。

◎どうして私たちは、命を大切にするのでしょうか。

ペアになって、お互いの意見を発表し合い、相手がどんなことを言っていたのかを全体で発表する。

S：僕の隣の〇〇さんは、親が産んでくれて、育ててくれているから大切にしないとダメだと言っていました。

S：私の隣の〇〇くんは命は一つしかないからと言っていました。

◇どうして一つしかない大切にすることですか。

S：なくなったら、死んでしまうからです。

◇死んでしまうとどうなりますか。

S：死んでしまうと、家族や友達が悲しみます。

T：そうですね。周りにいる人たちみんなが悲しみますね。みんなよく考えられました。



<ペアで発表>



<全体で発表>

協働や対話の場

○隣同士のペアや学級全体の交流活動を行い、友達の意見と共通しているところや新たに発見したことを認め合い、命に対する考えを多面的に捉えさせる。

○一人一人が考えを書き、個人の意見について学級全体で共有する場面を設定し、考え方を多角的に捉えさせる。

○あなたは、自分の命や友達の命を大切にしていこうために、どのようなことに気を付けていきたいですか。

それぞれ自分の考えを書いて、全体で発表する。

S：事故や災害にあわないように生きていくことが大切だと思いました。

S：危ないことをしないようにする。

S：友達とケンカをしないで、優しくする。

S：人をいじめたり、友達の嫌がることをしたりしない。



<一人一人が考えをまとめる>

問い返し (◇)

○「どうして一つしかない大切なのか?」「死んでしまうとどうなるのか?」などの問い返しをしながら、児童に自分の周りで支えてくれている人たちの気持ちにも気付かせ、命に対する考えを深めさせていく。

3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

○今日のめあては、「命を大切にすることについて考えを深めよう」です。今日の授業でどのようなことを学びましたか。

S：家族や友達が悲しむことになるので、事故や病気に気を付けて生活し、命を大切にしていきたいです。

S：身近な人が死んでしまうと、自分も悲しい気持ちになるので、友達や身近な人に対して嫌がることをしないで、優しくしていきたいです。

S：親から与えられた命をこれからも大切にしていきたいです。

振り返り

○命を大切にすることについて、これまでの自分の考えを認識させ、本時の学習を振り返ることによって、今後の生活にどのように生かしていくのかを考えさせる。

展開

終末

評価の視点

- ・ペアや全体でお互いの意見を発表して話し合うことで、命を大切にすることについて、多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- ・ペアや全体でお互いの意見を発表して話し合うことで、命を大切にすることについて、自分自身との関わりの中で深めているか。